

授業科目名 (英訳)	環境防災生存学特論 Advanced Studies Harmonizing Disaster Management and Environmental Conservation					担当者所属 職名・氏名	総合生存学館 教授 山敷 庸亮 防災研究所 教授 寶 薫 防災研究所 教授 矢守 克也					
	配当学年	2・3 回生	単位数	2	開講年度 開講期		H27 前期	曜時限	水/4	授業形態	講義	使用言語
〔授業の概要・目的〕												
<p>自然災害の防止・軽減のための社会基盤施設が河川流域や沿岸域の環境に与える影響は少なくない。この授業を通じて、国内外における災害の事例、環境悪化の事例、防災と環境保全の調和を図った事例を紹介しつつ、環境への悪影響や災害を極力減らすための考え方や技術について、様々な事例紹介および社会科学の・心理学的アプローチを通じて教員と学生による対話型の議論を展開する。</p>												
〔到達目標〕												
<p>人類の生存にとって環境の保全と自然災害の防止・軽減は極めて重要な課題であるが、この両者は時に相反する。このことを多様な事例を通じて学ぶとともに、相反する事象をどのように調和を取るか、地域に応じた技術的・社会的対策を数多くの事例の学習を通じて自ら考える能力を身につけることを目標とする。</p>												
〔授業計画と内容〕												
<p>【第1～2回】 概説 気候変動と災害事象 (山敷) 【第3～4回】 豪雨災害 極端気象による豪雨災害の増加 気象レーダーの利用と気候変動 (山敷) 【第5～6回】 洪水災害防止と環境 (寶) 【第7～8回】 河川環境と防災 (寶) 【第9回】 環境・防災問題に対する社会科学的方法 (矢守) 【第10回】 環境・防災問題に対する心理学的アプローチ (矢守) 【第11～12回】 大気海洋相互作用と災害 (山敷) 【第13～14回】 複合災害と環境への影響 (山敷) 【第15回】 まとめ (山敷)</p>												
〔履修要件〕												
特になし												
〔成績評価の方法・観点及び達成度〕												
講義中に行う簡単なレポートと、最終回に提示するレポートにより評価する。												
〔教科書〕												
特になし												
〔参考書等〕												
寶馨、戸田圭一、橋本学(編)：「自然災害と防災の事典」,丸善,2012												
〔授業外学習(予習・復習)等〕												
講義中に紹介する資料やビデオ等の予習復習を行う。												
〔その他(オフィスアワー等)〕												
担当教員が講義の際連絡方法を提示するため、それに従う。												